

## 福祉サービス第三者評価結果報告書【令和3年度】

2022年3月28日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 203-0031

所在地 東京都東久留米市南町1-13-38

評価機関名 株式会社ふくし・ファーム

認証評価機関番号

機構 04 一 134

電話番号 03-3332-3334

代表者氏名 加藤 正樹



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号		
	① 加藤 正樹		経営	H0601051		
	② 中野 航太		福祉	H2001058		
	③ 伊瀬 卓		福祉	H1801008		
	④ 田中 康夫		経営	H0202003		
	⑤ 加藤 みゆき		福祉	H0601067		
	⑥					
福祉サービス種別	認可保育所					
評価対象事業所名称	あきみ保育園					
事業所連絡先	〒	196-0011				
	所在地	昭島市上川原町1-10-18				
	TEL	042-519-4010				
事業所代表者氏名	照田 英明					
契約日	2021年6月19日					
利用者調査票配付日(実施日)	2021年10月1日					
利用者調査結果報告日	2021年12月8日					
自己評価の調査票配付日	2021年7月31日					
自己評価結果報告日	2021年12月8日					
訪問調査日	2021年12月14日					
評価合議日	2021年12月21日					
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成し、丁寧に説明を行いました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果は、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表によりわかりやすく報告しました。					

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2022年3月25日

事業者代表者氏名

照田英明



1	<b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b>
	<p>事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述  <b>(関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</b></p> <p>①子ども主体の遊びを重視する。      ②子どもの姿を振り返り、語り合う      ③ポジティブな解釈との見方をし、丁寧な対応と思いやりを大事にする。      ④子ども、保育者、保護者、相互の意思疎通を活発にし、保護者信頼関係の構築を図る。      ⑤地域の子育て支援の拠点として、さまざまな企画や行事を実施し地域交流を図る。</p>
2	<b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b>
	<p><b>(1)職員に求めている人材像や役割</b></p> <p>子どもの最善の利益を考慮し、1人ひとりの人格を尊重した保育を行う。      積極的に物事に取り組み、進んで行動・挑戦し、最後まで頑張る心を育てる。      身の回りに起こるさまざまなことに感謝して、感じて、考えて表せる心を育てる。      幼児期の終わりまで育ってほしい「健康な心と体」「自立心」「共同性」を大切に育てる。</p>
	<p><b>(2)職員に期待すること(職員に持つて欲しい使命感)</b></p> <p>子どもの最善の利益を一番に考え、ひとり一人の人格を尊重し、個人の発達や経験の個人差、国籍や文化の違いを理解し、多用性を認める。子どもに身体的、精神的苦痛を与えたり、人格を辱めたりすることのないよう、子どもの人格を尊重した保育にあたる。</p>

調査対象	<p>調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。</p> <p>[調査対象世帯数：95世帯(在園児107名)]</p>
調査方法	<p>園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関への郵送、または園内に設置した回収箱への投函により提出して頂くようにしました。</p>
利用者総数	107
利用者家族総数(世帯)	95
共通評価項目による調査対象者数	95
共通評価項目による調査の有効回答者数	50
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	52.6

**利用者調査全体のコメント**

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じいらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」32%、「満足」56%、「大変満足」と「満足」を合わせて88%の回答率となっています。「どちらともいえない」2%、「不満」2%、「大変不満」0%、無回答が8%でした。園のサービスに対する保護者の満足度が高いことが確認されました。ただし、回収率が52.6%にとどまっており、半数近い利用者の意見が反映されていません。個別設問では、問2「園活動への興味や関心を示し、学びや遊びを楽しんでいるか」、問13「子どもの気持ちを尊重した対応がされているか」について「はい」の回答率が96%で最も高く、問17「外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられているか」では「はい」の回答率が58%と最も低くなっています。

**利用者調査結果**

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	45	4	0	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の90%を占め、「どちらともいえない」が8%、「いいえ」が0%、「無回答+非該当」は2%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	48	2	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の96%を占め、「どちらともいえない」が4%、「いいえ」が0%、「無回答+非該当」は0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	47	2	1	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の94%を占め、「どちらともいえない」が4%、「いいえ」が2%、「無回答+非該当」は0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	33	12	5	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の66%を占め、「どちらともいえない」が24%、「いいえ」が10%、「無回答+非該当」は0%という結果でした。自由記述では、「戸外活動の頻度」について改善を期待する声が複数寄せられました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	36	4	2	8
この項目では、「はい」と答えた方が全体の72%を占め、「どちらともいえない」が8%、「いいえ」が4%、「無回答+非該当」は16%という結果でした。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	39	8	2	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の78%を占め、「どちらともいえない」が16%、「いいえ」が4%、「無回答+非該当」は2%という結果でした。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	37	11	2	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の74%を占め、「どちらともいえない」が22%、「いいえ」が4%、「無回答+非該当」は0%という結果でした。自由記述では、「行事日程の連絡が遅いこと」について改善を期待する声が複数寄せられました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	38	10	2	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の76%を占め、「どちらともいえない」が20%、「いいえ」が4%、「無回答+非該当」は0%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	46	3	0	1
この項目では、「はい」と答えた方が全体の92%を占め、「どちらともいえない」が6%、「いいえ」が0%、「無回答+非該当」は2%という結果でした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	45	4	1	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の90%を占め、「どちらともいえない」が8%、「いいえ」が2%、「無回答+非該当」は0%という結果でした。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	45	5	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の90%を占め、「どちらともいえない」が10%、「いいえ」が0%、「無回答+非該当」は0%という結果でした。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	37	9	0	4
この項目では、「はい」と答えた方が全体の74%を占め、「どちらともいえない」が18%、「いいえ」が0%、「無回答+非該当」は8%という結果でした。自由記述では、多様な意見が寄せられました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	48	2	0	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の96%を占め、「どちらともいえない」が4%、「いいえ」が0%、「無回答+非該当」は0%という結果でした。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	42	6	0	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の84%を占め、「どちらともいえない」が12%、「いいえ」が0%、「無回答+非該当」は4%という結果でした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	38	8	2	2
この項目では、「はい」と答えた方が全体の76%を占め、「どちらともいえない」が16%、「いいえ」が4%、「無回答+非該当」は4%という結果でした。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	35	7	2	6
この項目では、「はい」と答えた方が全体の70%を占め、「どちらともいえない」が14%、「いいえ」が4%、「無回答+非該当」は12%という結果でした。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	29	7	14	0
この項目では、「はい」と答えた方が全体の58%を占め、「どちらともいえない」が14%、「いいえ」が28%、「無回答+非該当」は0%という結果でした。				

## I. 組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7)

No.	共通評価項目													
カテゴリー1														
1 リーダーシップと意思決定														
サブカテゴリー1(1-1)														
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリーベの 標準項目実施状況												
		7 / 7												
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している														
評点(○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている</td><td style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている</td><td style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている														
評点(○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている</td><td style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している</td><td style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している														
評点(○○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている</td><td style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している</td><td style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている</td><td style="text-align: right;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当												
カテゴリー1の講評														
<p>新任研修やスローガンで理念など園が目指していることを周知しています 法人の運営理念は「愛・行動・感謝」で、「明るく・元気で・素直な子」を保育目標にしています。法人のビジョンや理念について、職員の理解を深める取り組みとして、新任職員研修を行っています。また、理念スローガンを職場内に掲示しています。法人や園が目指している運営方針について、利用者に対しては重要事項説明書を配布して、入園説明会で説明しています。重要事項説明書には法人理念や保育理念、保育目標、保育方針・運営方針が記載されています。</p> <p>業務分担表に詳細な役割が明示されています 園長の役割と責任は就業規則に大まかに記載されおり、職員会議などで職員に伝えています。事業計画書の中に記載している「業務分担表」には園長から一般職員、事務員に至るまでの詳細な分担事項が記されています。経営層は面談やメール配信などで職員にメッセージを発信しています。園長は職員研修とICT化(動画配信)ではリーダーシップを発揮して、園をリードしています。運営方針は、面談・職員会議で職員に周知しています。</p> <p>保育に関する重要な案件は概ね職員会議で決定されます 日常の保育に関する重要な案件は、概ね職員会議で決定されますが、案件によってはクラス担当の連絡会議で決定されます。決定事項は職員会議で周知したり、議事録を回覧して伝えています。最近検討した重要な案件は医療的ケア児の保育園受け入れです。法人内または園内の決裁の仕組みについては、運営規程に記載しています。利用者には園だよりで伝えますが、内容によっては文書を個別に配付して周知しています。なお、近隣住民に対しては園外の掲示板で伝えています。</p>														

カテゴリー2																								
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	<p>サブカテゴリー1(2-1)</p> <p>事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している</p>																							
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6																					
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	<p>評点(○○○○○○)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>5. 事業所の経営状況を把握・検討している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当																						
サブカテゴリー2(2-2)	<p>実践的な計画策定に取り組んでいる</p>																							
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5																					
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	<p>評点(○○○)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当																						
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる	<p>評点(○○)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当												
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																						
カテゴリー2の講評																								
動画配信を活用して、利用者にアンケート調査を行っています 動画配信で利用者アンケート・内容別のアンケートを行い、利用者のニーズの把握に努めています。把握したニーズは、朝会や職員会議で職員に報告しています。アンケート結果は玄関に掲示して周知しています。職員のニーズは、職員会議や個別面談により把握しています。個別面談は年2回行っており、把握したニーズは職員会議や朝会で職員に報告しています。職員のニーズに対しての取り組み事例として、更衣室にエアコンを設置しました。																								
地域住民のニーズに対応して、公園では園児がマスク着用することにしました 園長は市の園長会に出席して地域ニーズの把握に努め、把握したニーズは職員会議で報告しています。地域の福祉ニーズに対応した事例として、公園利用時には子供たちもマスクを着用することにしました。散歩の際に地域住民から上がった要望への対応です。園は東京都社協・民保協に参加したり各種業界誌を購読して、福祉事業全体の動向について情報収集しています。収集した情報は研修などで活用しています。園の経営状況は、職員会議で報告・共有しています。																								
事業計画の策定には、一部の職員も参画しています 運営法人が中・長期事業計画を策定しています。中・長期事業計画に沿って、園で単年度事業計画を年度末に策定しています。事業計画の策定には園長と主任の他、専門職や一部の職員も参画しています。事業計画はパソコン・サーバーなどに保管して、各クラスのパソコンで職員が閲覧できるようになっています。計画に合わせた園の予算は園長が編成しています。事業計画の進捗状況は、職員会議で職員に伝えています。事業計画の内容を年度途中で見直す場合も、職員会議で検討しています。今年度は運動会や発表会の実施内容を見直しました。																								

カテゴリー3			
3 経営における社会的責任	サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当	
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリー3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5	
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当	

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(○○○)
標準項目		
評価	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている  ●あり ○なし	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している  ●あり ○なし	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる  ●あり ○なし	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー3の講評		
<b>人権擁護の研修に保育士協会のチェックリストを利用しています</b> <p>社会人としての心得やハラスメント、法令遵守は就業規則に記載され、職員は各クラスのパソコンから閲覧できるようになっています。また年2回、保育士協会のチェックリストを用いて、人権擁護の内部研修を行っています。コンプライアンスの理解が不足している職員には、個別面談で指導・支援していますが、以前に比べて苦情などが少ないことから、職員のコンプライアンス意識が高まっていると感じています。その他、園の情報をホームページに公開したり、地域向けの園外掲示板を設置して、組織の透明性を図っています。</p>		
<b>利用者の意向を報告書にまとめて、職員会議で共有しています</b> <p>苦情受付担当者は主任保育士、解決責任者は園長を担当者として、苦情や要望に対応しています。なお、苦情解決制度の利用方法は入園説明会で利用者に伝えており、利用者から要望などを伝えられた際は、苦情対応マニュアルに沿って対応しています。苦情受付に寄せられた利用者の意向は、年度末に苦情報告書としてまとめ、職員会議で共有しています。そのほか、職員による虐待行為や家庭での虐待の疑いがある場合に対応するため、職務規程や虐待対応マニュアルを整備しています。さらに関係機関と連携する体制も整えています。</p>		
<b>マニュアルを整備して、ボランティアや実習生を受け入れています</b> <p>ボランティアと実習生の受け入れは、ボランティア・実習生受け入れマニュアルに沿って対応しています。前年度は、ボランティアと職場体験の学生・生徒、実習生を各若干名受け入れました。子育て支援事業として、わらべうた・芋ほりのイベントを実施しています。前年度は3回、今年度は4回実施しました。ひととぎ保育事業は、前年度64人が利用しました。また園は、園長会・主任保育士会・看護師会・給食会などの地域ネットワーク会議に参画しています。地域ネットワーク会議で議題になった地域課題としては、医療的ケア児の受け入れがあります。</p>		
カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5／5
<b>評価項目1</b> <b>事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる</b>		
評点(○○○○○)		
標準項目		
評価	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている  ●あり ○なし	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている  ●あり ○なし	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している  ●あり ○なし	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる  ●あり ○なし	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる  ●あり ○なし	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)																	
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4														
<b>評価項目1</b> 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている			評点(○○○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当															
カテゴリー4の講評																	
<p>定員割れを最優先で取り組むリスクとしています 運営に係るリスクとして、最優先で対策に取り組むリスクは「園児数の定員割れ」を挙げています。市内では若干の待機児童がいますが、すでに定員割れの園が市内で複数園確認されており、対策が急務となっています。2番目のリスクが「職員の離職」です。職員の定着率の向上に向けて、園は都の働きやすい職場宣言に参加しています。3番目のリスクが「感染症」です。そのため、感染症対策マニュアルの整備や自治体からのメールで情報収集を行っています。コロナ対策では、非接触型検温器や空気清浄機の導入などを行っています。</p> <p>数日の復旧期間を想定した事業継続計画を策定しています 事業継続計画(BCP)は、首都直下型地震を想定して策定されています。想定している復旧期間は2~3日で、職員の確保など再開のための組織作りを開始する内容になっています。BCPは、事務室と各クラスに保管しています。また事故対策として、インシデント・ヒヤリハット報告や事故報告書に記録し、発生要因を職員会議や事故事例研修会で分析しています。事故事例研修会では看護師が中心となり、ネット動画を活用して熱中症や水遊びでの事故をテーマに防止策を検討しています。避難訓練については、職員が持ち回りで計画・実施しています。</p> <p>入職時の研修で情報管理規程などの内容を伝えて、個人情報保護を周知しています 入園時に利用者に配布・説明している重要事項説明書には、個人情報の使用目的と写真の取り扱い、ホームページなどへの写真掲載の同意書が添付されています。職員に対しては、入職時の研修で園長が情報管理規程や文書管理規程の内容を伝えています。職員会議でも内容を確認しています。児童票など機密性の高い情報を含む文書は、事務室内キャビネットに保管されています。パソコンごとにパスワードを設定し、アクセス制限を設けて電子データを管理しています。また動画配信アンケートなどで収集した情報は、担当者を配置して整理と管理を行っています。</p>																	
<p>5 職員と組織の能力向上</p> <p>サブカテゴリー1(5-1)</p> <p>事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる</p> <p>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</p> <p>12/12</p>																	
<b>評価項目1</b> 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている			評点(○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当															
<b>評価項目2</b> 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している			評点(○○)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当															

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(○○○○)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている
評価	標準項目										
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している										
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している										
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している										
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている										
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(○○○○)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている
評価	標準項目										
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている										
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる										
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる										
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている										
サブカテゴリー2(5-2)											
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	3/3									
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(○○○)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		
評価	標準項目										
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している										
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている										
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる										
カテゴリー5の講評											
<p>優先的に採用したい職員像は、経験のある中堅職員です      人材募集は、ハローワークやリインターネットで行っています。都の働きやすい職場宣言に参加するなど、人材確保に工夫をしています。      採用人事権は法人理事長にありますが、実質的には園長が面談して採用しています。現在優先的に採用したい職員像は、明るく積極的で経験のある中堅職員です。昨年度は6名新規採用ましたが、いずれも中途採用でした。職員の年齢構成はおおむねバランスが取れています。職員の将来像を示したキャリアパスに設定されている階層の数は、6階層です。キャリアパスの内容は、事業計画書で職員に伝えています。</p> <p>職員の研修は内部研修がOJT、外部研修はリモート・オンラインが主体です      研修計画は3月に策定して、事業計画書に明示し、各クラスに配布しています。内部研修では、OJT(職務を通じての研修)が重視されています。外部研修は自治体や東社協主催のリモート研修の受講が多い傾向です。階層別研修計画書は、園長・主任・一般正職員・専門職別にキャリアパスに整合して作成されています。職員の意向や経験は、個別面談で把握し、人事考課シートに記録しています。そのほか、リーダー育成の具体的な方法として、キャリアアップ研修・マネジメント研修を実施しています。</p> <p>職員増で職場にゆとりが出来て、チームワークが向上しました      人事考課規定に沿って園長と主任が個別面談を行い、人事評価しています。園長は職員が設定した目標の達成状況を7月と12月の年2回、人事考課シートで確認しています。有給休暇は時間単位で取得できる制度になっています。有給休暇の取得状況は7割程度とやや低いですが、職員からは「取りやすい」という意見が複数ありました。残業についても、「しない雰囲気がある」という声が聞かれました。職員の意識ややる気については、個人面談で把握・分析しています。職員増により、ゆとりが出来てチーム力も向上しています。</p>											

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
	サブカテゴリー1(7-1) 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている
	<p><b>評価項目1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p> <p><b>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</b></p> <p>前年度、重要課題の一つとして「自立心を育てる・子どもが主体的に遊べる環境作り」を取り上げました。課題の背景として、園は子どもの主体性を大切にした保育の実践を基本としているからです。取り組みを推進するため、ゆとりのある保育士の体制を整備することとしました。取り組みを推進する期間として、1年間を見込みました。取り組みが成果を上げるような工夫として、働きやすい職場環境作りのため、公休を増やしました。また職員を増員し、ゆったりとした環境で保育が行えるようにしました。その結果、職員の補充がスムーズに進み余裕のある職員体制は整いましたが、新型コロナ感染症対策の影響もあり、課題の達成度は60%程度と自己評価しました。今後も子どもが主体的に遊べる環境作りの取り組みを継続し、今年度はその理論を学ぶ方針です。</p>
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p><b>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b></p> <p>取り組みの達成度は、コロナ禍のため現状に合わせて進めることにしましたので、60%と低い結果になりました。園は今年度の短期的目標として、子どもの気持ちを尊重する実践手法を学習することにしました。そのため、ハイスクープキャリキュラムの基礎を理解する取り組みを行っています。具体的には、職員が見学や研修会に参加して体験しました。まだ初步的な部分を学んだ程度の理解ですが、4~5人の職員が参加して、目標の達成に向けて取り組んでいます。</p>	

**評価項目2**

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その2）

## 前年度の重要課題に対する組織的な活動（評価機関によるまとめ）

前年度、重要課題として「職場定着率の向上を図り、研修に参加しやすい職員体制で人材育成に取り組むこと」と掲げました。その背景として、これまで離職率が高かったため、外部研修などに参加する時間のゆとりが乏しかったことが挙げられます。そのような課題の解消に向けて、年度内の退職者ゼロを短期的な目標として取り組みました。取り組みを推進する体制として、正職員の保育士を増員するために大幅な予算を計上して、人材紹介会社を通して職員を新規採用しました。職員増員によって働きやすい職場環境には改善されましたが、昨年度は退職者が2名あり、園が設けた短期的な目標の達成はできませんでした。課題である人材育成については、新型コロナ対策の影響もあり、成果は40%の達成度と自己評価しています。内部体制が整っていなかったために、園内外の研修の必要な量と質が確保できなかつたことが要因です。この点について短期間で成果を上げることは難しいので、今後5年程度の長期的な課題として取り組むことにしました。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった（目標設定を行っていない場合も含む） <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

## 評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園は職員のキャリア支援への取り組みとして、「個人ごとの目標設定を明確にし、その人に必要な知識や技術習得のための研修計画を立てて。その結果を評価・フィードバックし、それにより成功体験を実感したり、働き甲斐を感じるようにして、将来のリーダー的な職員を育成すること」を挙げています。取り組みを通じて職員のモチベーション向上や定着率の向上につなげることを目指しています。そのため、今年度の短期的目標を「研修への参加」としました。リモート研修など学ぶ機会が増えているに加え、内部体制も徐々に整っていますので、昨年度に比べて目標の達成度は大きく上昇することが期待されます。成果をさらに高めるために、系列園での体験研修などの工夫が必要とも感じており、10人程度の職員を他園に派遣したい意向です。また、職員の確保では紹介料として多額の費用を要したことから、リクルートの見直しも課題としています。

## II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目																
	サブカテゴリー1																
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4															
<p>評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している</p> <p>評点(○○○○)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当															
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当															
<p>サブカテゴリー1の講評</p> <p>園の情報は市や園のホームページ、見学時に配布されるパンフレットから入手できます 入園または見学を希望する保護者への情報の提供については、市や園のホームページの閲覧や見学時に配布されるパンフレット、担当課の窓口に設置している子育て支援情報誌から入手することが出来ます。保育園の案内として、社会福祉法人愛成会要覧を発行しています。また市が作成している冊子「乳幼児支援制度案内」には、市内各園の地域子育て支援の日程や内容などが記載されています。地域に向けては、園で実施している「子育て広場」の案内を園の前の掲示板や保健福祉センターの掲示板への掲示、および市の広報誌で周知しています。</p> <p>園のホームページやパンフレットは画像なども活用してわかりやすく表現しています 市のホームページでは、所在地や電話番号・定員・開所時間などを配信しています。園のホームページでは、法人の概略や年齢ごとの目標・一日の流れ・ギャラリーとして施設の写真や園で実施しているイベントの様子を配信しています。またSNSを活用して、行事や楽しく参加している体操教室などの写真も配信しています。三つ折りのパンフレットには保育理念や保育目標、特色ある保育、主な年間行事などを記載しています。パンフレットには今後取り組んでいく予定にしている「ハイスコープアプローチ」について加筆しました。</p> <p>見学は随時受付け、パンフレットをも基に園舎の見学と園の理念を説明しています 見学は随時受付け、希望日時に合わせて実施しています。主な対応は主任が行ない、園舎を案内しながらパンフレットに沿って園の理念（愛・明るく一友だちを思いやり誰とでも遊べる子、行動・元気で自分で出来る事が自分で行ない豊かな感性を持てる子、感謝・素直な子・自ら、ありがとうの感謝の気持ちを持ち、あいさつのできる子）とし、子どもの成長を援助することなどを説明しています。さらに、和太鼓や体操教室に取り組んでいることや屋上庭園を紹介しています。希望があれば入園前に保育体験の機会を設けています。</p>																	

サブカテゴリー2															
2 サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6 / 6													
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている			評点(○○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当	
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当													
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			評点(○○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td>●あり ○なし</td><td>3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている</td><td><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当													
サブカテゴリー2の講評															
<p>入園前に説明会を実施し、園の概要や理念、基本ルールについて説明しています      入園決定後、児童票や生活状況表などの書類を送付し、入園時説明会の日程の案内(3月中旬)と書類の記入を依頼しています。入園時説明会では重要事項説明書を基に、園長から園の概要(保育目標、理念、事業目的運営方針、保育計画など)や基本ルール(登降園時や服装など)、持ち物など項目ごとに丁寧に説明しています。今年度からプレゼンテーション用ソフトの活用をはじめ、今後充実させていく予定です。その後一人ひとり面接を実施し、書類の確認と入園までの家庭での様子やアレルギーの有無、既往症などについて聞き取りをしています。</p> <p>子どもや保護者の状況を把握し、徐々に慣れていくよう期間や時間の配慮をしています      説明会や面談で得た保護者からの意見や質問、個々の意向や園児の状況は、園日誌や新入園保護者表にそれぞれ記録し、職員間で共有しています。把握した子どもや保護者の状況を基に、子どもが無理なく慣れていかれるように入園直後に10日間をめどに「慣れ保育」を実施しています。子どもや保護者の様子や事情・希望によっては、期間を短縮または延長するなどの配慮もしています。慣れ保育中は、園児の慣れ親しんだバスタオルなどの預かりもしています。園での様子は丁寧に伝え、安心して預けてもらえるように努めています。</p> <p>転園や退園、卒園後にも行事への誘いや学童を通して支援を継続しています      転園する子どもについては、手作りアルバムや作品集をプレゼントしています。転園先から要望があれば、子どもの情報(児童票の内容要約)を提供しています。卒園する子どもについては、小学校へ保育所児童保育要録や就学支援シート(保護者の同意の基)を送っています。また、卒園アルバムや記念品をプレゼントしています。さらに運動会には、卒園児競技なども取り入れています。併設された学童に通っている子どもとは「お話の会」など一緒に過ごす機会もあり、支援を継続しています。</p>															

サブカテゴリー3																				
3 個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12/12																		
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している <span style="float: right;">評点(○○○)</span>																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 5px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◉あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																			
◉あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当																		
◉あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当																		
◉あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当																		
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している <span style="float: right;">評点(○○○○○)</span>																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 5px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◉あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																			
◉あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当																		
◉あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																		
◉あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																		
◉あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当																		
◉あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当																		
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <span style="float: right;">評点(○○)</span>																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 5px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◉あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																			
◉あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当																		
◉あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当																		
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している <span style="float: right;">評点(○○)</span>																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 5px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 5px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◉あり ○なし</td><td style="padding: 5px;">2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している</td><td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◉あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																			
◉あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当																		
◉あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当																		
<b>サブカテゴリー3の講評</b>																				
全体的な計画に沿って、園目標を軸に年間や月間指導計画を作成しています 全体的な計画に沿って、年間指導計画・月間指導計画を作成しています。具体的な保育活動は週案の中に表現しています。発達状況や心身・生活状況などは定期的に児童票や日誌などに記録しています。日常の保育内容は、保育目標である「明るく元気で素直な子」を反映し、構成されています。また、子どもの状況に合わせてクラスの目標を定め、月間指導計画を策定しています。さらに行事や食育・健康・体操教室なども含めて計画を作成しています。5歳児の指導計画は、午睡時間の短縮や読み書きなど就学前教育カリキュラムとの整合性も意識しています。 <b>子どもの成長の目安を個人面談などでわかりやすく伝え、保護者と共有しています</b> 子ども一人ひとりに関する情報は、日誌および児童票には定期的(0歳児毎月、2歳児隔月、3歳児以上4半期毎)に記録しています。年齢ごとの発達の目安や取り組みは、クラスだよりやクラス懇談会などで保護者に周知しています。子どもの活動の様子は、SNSや連絡帳などを活用して伝えています。個別指導計画は、0~2歳児と配慮が必要な子どもについて作成しています。一人ひとりの成長の様子や目安については、連絡帳や個人面談でわかりやすく伝え、子どもの発達や成長と共に確認しながら子育ての視点を共有しています。 <b>計画の内容、子どもや保護者の様子は、会議や記録の閲覧で全職員が共有しています</b> 作成した計画については、毎月の職員会議で全職員が共有しています。クラスの様子や子どもの成長についても報告しています。非常勤職員へは、注意事項も含め、口頭で伝えています。子どもや保護者の状況の変化については、毎日朝礼を実施し、朝礼ノートに記録しています。内容はクラスノートに書き留め、クラス内で共有しています。朝礼ノートは事務所に保管され、朝礼に出席できなかった職員は出勤時に必ず確認することとしています。今後はソフト導入によるICT化(情報伝達システム)を進め、手書き書類を減らしていく予定です。																				

サブカテゴリー5																								
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5																					
<p><b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p style="text-align: right;">評点(○○)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p> <p style="text-align: right;">評点(○○○)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>サブカテゴリー5の講評</b></p> <p>入園時に個人情報について説明するとともに、子どもの羞恥心への配慮をしています 個人情報の取り扱いについては重要事項説明書に明記されており、入園時に説明し内容を確認した旨の署名をもらっています。外部とやり取りする必要がある場合は、その都度保護者の同意を得ることとしています。子どもの羞恥心への配慮として、トイレは年齢に応じてドアを設置し、オムツ交換は決まった場所で行なっています。プール遊びは屋上で行なっていますが、今年度オーニングシェードを設置し、より遮光と周りからの視線を遮ることができるようになりました。着替えは全裸にならない着替え方を伝えています。3~5歳児は男女別に着替えています。</p> <p>保育目標を基に入権について学び、一人ひとりの状況に合わせた保育を心掛けています 保育目標に「子どもの最善の利益を第一に、一人ひとりの個性を尊重し、明るくあたたかい丁寧な保育を行う」とあり、子どもの成長や発達、家庭での生活リズムを把握し、一人ひとりの状況に合わせた保育を心掛けています。園内研修で人権について学び、全職員で理解を深めています。職員自らの言動を振り返る機会としては、「人権擁護のセルフチェックリスト」を活用して、子どもや保護者へ適切な関わり方をしているか確認しています。子どもと保護者の価値観や生活習慣については、保護者アンケートや動画配信アンケートを行ない把握しています。</p> <p>虐待などについて理解を深め、必要に応じて市や関係機関と連携する体制を整えています 虐待防止や育児困難家庭については、市で実施している研修に1回3名ずつ参加しています。「子どもの虐待にどう向き合うか」をテーマに園内研修も実施し、全職員で理解を深めています。ニュースで話題になった時には、朝礼で情報を共有しています。虐待が疑われる場合や気になるケースを発見した時には、虐待対応マニュアルに沿い、速やかに市や子ども家庭支援センター、児童相談所など関係機関と連携する体制が整えられています。</p>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当																						
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当																						

サブカテゴリー6													
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5												
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <span style="float: right;">評点(○○○)</span>													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◎あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◎あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◎あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目												
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当											
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当											
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当											
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点(○○)</span>													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◎あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◎あり ○なし</td><td style="padding: 2px;">2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目												
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当											
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当											
<b>サブカテゴリー6の講評</b> <p>各種マニュアルを事務所やクラスに保管し、理解を深め業務の標準化を図っています            各種マニュアル(安全管理・保健衛生・事故防止・虐待対応など)を1冊のファイルにまとめ、事務所に保管しています。必要に応じて簡略化したものを作成しておき、さらに日常的に必要なものについてはラミネートし、すぐ取り出せるところへの保管や保育者が見えるところに掲示しています。感染症マニュアルは全職員に配布しています。職員は分からないことが起きた場合や手順に疑問が生じたときなどに活用して、基本事項を確認しています。熱中症予防については園内研修を実施し理解を深め、業務の標準化を図っています。</p> <p>保護者・職員の意見や提案などを取り入れサービス向上への取り組みを行っています            各種マニュアルは、手順が実態に即さないことが見受けられた際に、職員会議で随時見直しを行ない改善しています。保護者アンケートや動画配信アンケートなどで寄せられた保護者からの意見や要望は、出来る限り保育に反映するようにしています。感染症対策のため玄関での受け渡しになりましたが、保護者から職員と話をする機会が減ったという意見を受け、個人面談などできる限り時間を作るようしました。職員からの意見は会議の中で随時吸い上げ、検討しています。その事例として、行事の時期や時間を変更するなど、サービス向上に努めています。</p>													

III サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サブサービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35／35																					
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○○)																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全般的な姿を把握したうえで保育を行っている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</td><td>○非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している</td><td>○非該当</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全般的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当			
評価	標準項目																								
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全般的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当																							
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当																							
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当																							
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当																							
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当																							
◎あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当																							
評価項目1の講評																									
<p>一人ひとりの子どもの状況を把握し、温かい雰囲気の環境づくりをしています</p> <p>一人ひとりの子どもの発達や生活状況などは、入園時の面談や送迎時の会話、連絡帳などを活用して聞き取り、必要に応じて児童票に記録しています。日々の活動の様子や成長状況については、日誌に記録しています。個別の状況や保護者との会話などの記録については、今後ICT化なども活用して充実させていきたいと考えています。室内環境は把握した子どもの状況に合わせて玩具を準備し、温かい雰囲気の中で子ども自ら玩具を選んで遊び、片付けられるような環境づくりをしています。可動式の棚を活用し、臨機応変にコーナー作りをしています。</p> <p>異年齢で交流する機会を設け、思いやりや労りの気持ちを育んでいます</p> <p>異年齢で交流する機会としては、朝夕の合同保育の時間や土曜保育などのほか、担任同士で話し合い、週案や日案の中で計画して、散歩に行く機会を設け、思いやりや労りの気持ちを育んでいます。英語教室は遊びながら外國語に触れる機会となっています。また国内各地の文化に親しむ機会として、給食の味噌汁を各地の味噌を使用して提供する「味噌紀行」を実施しています。小学校への円滑な接続に向けては、書類の送付のほか、小学校で交流会が実施された際に一緒に遊ぶ機会が設けられており、期待を持って就学できるようにしています。</p> <p>子どもの特性に応じた適切な支援ができるように体制を整えています</p> <p>特別な配慮が必要な子どもを受け入れ、他の子どもたちと一緒に生活する中で、適切な支援体制を整えています。子どもたちは互いに刺激し合い、成長しています。専門機関と連携し、巡回指導でアドバイスを受け、支援に活かしています。発達の過程で生じる子ども同士のトラブルについては、互いの気持ちに寄り添い、仲立ちや見守りの中で自ら解決できるように導いています。園では「ハイスクープアプローチ」(アクティブラーニングを中心に据えた教育アプローチ)に取り組む準備をしており、職員は研修に参加して知識を深めています。</p>																									

## 2評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(○○○○)

評価		標準項目	
◎あり	○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目2の講評

登降園時に子どもや保護者、園での様子を互いに確認しています

登園時には視診とともに連絡ノートの確認と保護者との会話で、前日からの家庭での様子や体調などを確認しています。朝保育で得た保護者からの連絡や子どもの様子は朝会ノートに記載し、クラス担任に引き継いでいます。降園時には日中の健康面やトピックスを口頭で保護者へ伝えています。夕保育の時間には担任から当番保育士に、引き継ぎノートや口頭で引き継ぎ、保護者へ確実に伝えています。今年度は感染症対策のため、玄関での受け渡しどとなったため、ホワイトボードを設置し、クラスごとに「張り出し日誌」(写真つき)を掲示して周知しています。

基本的生活習慣については子どもの発達に合わせて家庭と連携した支援をしています

基本的な生活習慣については、クラス懇談会や個人面談などでその大切さを伝え、年齢ごとの目安や園での様子を知ってもらうことで、家庭と連携した支援ができるようにしています。排せつについては、一人ひとりの間隔を把握してトイレに促しています。着脱については排せつ時を含め、こまめに着替える機会を設けるとともに、紐通しやボタンかけなどの玩具を準備しています。箸については、遊びの中で箸を使ってのスポンジ挟みなどを取り入れながら、スプーンなどが正しく持てるようになった子どもから順次移行しています。

健康状態、生活リズムなど一人ひとりの状況に合わせた時間や長さの調整をしています

午睡は年齢や発達に合わせて基本的な入眠時間や長さを決めていますが、その日の子どもの健康状態、家庭での生活リズムを考慮し、一人ひとりの状況に合わせて入眠時間や長さを調整しています。寝付けない子どもや早く目覚めた子どもについては3階ホールを活用しています。5歳児については、就学へ向けた準備として、休息時間を取り入れながら徐々に時間を短くしていく、年明けから無くしています。午睡をなくしてからの活動としては、一定時間椅子に座る時間を設け、集中できる机上遊びのほか、ひらがなや時計の勉強を行っています。

3 評価項目3	
日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	
評点(○○○○○)	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>
◎あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている
○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している
○非該当	
◎あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している
○非該当	
◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている
○非該当	
◎あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている
○非該当	
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している
○非該当	
<b>評価項目3の講評</b>	
<p>一人ひとりが主体的に遊べる環境を作るとともに一緒に遊ぶと楽しいことも伝えています どのクラスも温かい家庭的な雰囲気作りをしており、年齢に合わせたままごとや絵本、ブロック、玩具などのコーナーを設けています。子どもは自由に玩具を選択し、好きな遊びを十分に楽しめるように配慮しています。集団活動としては、園で取り組んでいた和太鼓・体育教室・英会話などもありますが、集団での活動は無理強いせず、複数担任の中で一人ひとり声かけし、友だちと関わながら一緒に遊ぶと楽しいことも伝え、自ら入りたい気持ちになるのを見守っています。また、ルールを守って遊ぶより楽しく遊べることも伝えています。</p> <p><b>絵本や音楽、劇、絵画などさまざまな表現活動を楽しんでいます</b> 各クラスには絵本コーナーが設置されており、保育者の語りかけと絵本のよみ聞かせの中で発語を促しています。職員や友だちとの会話を重ね、言葉に親しみ表現力を養い、発表会では劇を披露しています。音楽的な表現としては、今月の歌や和太鼓に取り組んでいます。季節に合わせた絵画や制作にも取り組み、壁面制作もしています。また、空き箱や自然物(落ち葉や木の実)などの素材と道具を準備したコーナーを設置し、自由に制作を楽しめるようにしています。ブロックなどの構成遊びの中でできた作品は一定期間保管し、遊びの継続性にも配慮しています。</p> <p><b>園庭遊びや散歩など、戸外遊びを通して四季の移り変わりを体感しています</b> 近隣の0歳児から行ける公園や、大きな木が植えられた公園などを活用し、気候の良い時には週2回程度散歩に出かけています。公園では広場を活用してゲームなど体を動かして遊ぶほか、植物や昆虫と触れ合い、寒暖差などで季節の移り変わりを体感しています。園庭では砂場やローディ、ボール遊びなどの活動を行なっています。きんもくせいやつづじなどの植物も植えられ、ダンゴムシやバッタにも出会えます。また夏野菜の栽培では、水やりなど世話をしながら生長を楽しみにしています。</p>	
4 評価項目4	
日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している	
評点(○○○)	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>
◎あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している
○非該当	
◎あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している
○非該当	
◎あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている
○非該当	
<b>評価項目4の講評</b>	
<p>子供が興味や関心の持てるさまざまな行事を企画して、実施しています 日本の伝統的な七夕や節分、ひな祭り、成長を感じられる運動会や生活発表会、季節を感じられるお祭りごっこやクリスマス会など、さまざまな行事を実施しています。今年度のお祭りごっこは出店や盆踊り、お神輿と夏祭りのイベントを全部取り混ぜて行いました。3~5歳はそれぞれ1人ずつの3人グループを作り、異年齢交流になりました。毎月の誕生日では各クラス毎(コロナ禍前は合同)にお祝いし、インタビューや職員の出し物を行い、写真と手形をプレゼントしています。その日の給食は季節感のある盛り付けや工夫されたおやつを提供しています。</p> <p><b>行事は感染症対策のため内容を変更しながら達成感を味わえるように工夫しています</b> 生活発表会では子ども同士話し合ながら役決めや小道具作成など、みんなで協力し作り上げていく過程も大切にしています。5歳児の「お泊り会」は感染症対策のため「夜のお楽しみ会」にして、夕方から宝探しやお化け屋敷などを楽しみ、夕飯のお弁当(本来ならカレーライスを一緒に作る)と一緒に食べました。また4月から和太鼓に取り組み、練習を重ねて運動会で披露しているほか、1月には「和太鼓園内発表会」の日を設け、練習の成果をみんなに見てもらっています。当日を楽しみに取り組みながら、やり遂げる喜びを実感できるようにしています。</p> <p><b>予定表やおたよりを配布して行事の実施や保護者参加へ理解が得られるようにしています</b> 年度初めに「年間行事予定表」を配布し、保護者参加の行事に見通しを持って予定が立てられるようにするとともに、運動会や生活発表会など保護者参加の行事の前には、園だよりや特集号を配布し、日程の案内や簡単な内容などの案内をしています。参加にあたってのお願いや注意事項なども記載し、保護者の理解を得られるようにしています。当日は行事を通して子どもの成長を感じてもらい、職員と喜びを共有しています。保護者が参加しない行事は、写真の掲示や販売、SNSを活用し、活き活きと活動している様子を伝えています。</p>	

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(○○)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている</td></tr> <tr> <td>○非該当</td><td></td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている</td></tr> <tr> <td>○非該当</td><td></td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当		◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当									
評価	標準項目																		
◎あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている																		
○非該当																			
◎あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている																		
○非該当																			
評価項目5の講評																			
<p>温かく家庭的な環境を整え、長時間保育でもくつろいで過ごせるようにしています</p> <p>長時間保育の中で安心してくつろいで過ごせるように、カーペットやパーテーションを活用して環境を整えています。ハイスクープカリキュラムの導入も準備していますが、子どもによっては一人の時間が必要な場合もあります。長い一日の中ではクラスの活動から離れて一人になりたい子どもへの配慮として、仕切りのできるようなパーテーションや移動式の棚、簡易テント(一人用)を準備しています。疲れてしまった子どもは、事務室内のコットベッドで休息することが出来、気分転換してクラスに戻れるようにしています。</p> <p>日中とは違う遊びを楽しめる専用玩具の準備と安心して過ごせる体制を整えています</p> <p>18時からは延長保育になり、全クラスが合流し降園まで一緒に過ごしています。普段遊べないブロックやパズル、絵本などの専用の玩具を準備し、日中とは違う楽しみにしている遊びが出来るようにしているほか、個別のスキンシップを行ながら過ごせるように配慮しています。異年齢で過ごすこの時間は年上の子が年下の子に遊びを教えるなど、思いやりや憧れの気持ちが育まれています。朝夕保育の当番保育士はシフト制ですが、補助職員(パート)はできるだけ同じ人が担当し、顔なじみの中で安心して過ごせるように配慮しています。</p>																			
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(○○○○)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している</td></tr> <tr> <td>○非該当</td><td></td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</td></tr> <tr> <td>○非該当</td><td></td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している</td></tr> <tr> <td>○非該当</td><td></td></tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td><td>4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている</td></tr> <tr> <td>○非該当</td><td></td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当		◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当		◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当		◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当	
評価	標準項目																		
◎あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している																		
○非該当																			
◎あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている																		
○非該当																			
◎あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している																		
○非該当																			
◎あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている																		
○非該当																			
評価項目6の講評																			
<p>食事は落ち着いた場所で楽しくできるように環境を整えています</p> <p>食事はクラスごとに時間を決めて行っています。3~5歳児はグループで会話を楽しみながら食事をしています(感染症対策のため現在は衛立を立てて黙食)。椅子やテーブルは年齢や発達に合わせて使用し、正しい姿勢で食べられるようにしています。職員も同じ給食を食べ、「おいしいね」を共有しています。今年は実施できませんでしたが会食(クリスマス)の機会もあり、装飾を施しバイキングなどいつもと違う雰囲気も楽しんでいます。今年はクラスごとにクリスマス風の紙ナプキンやコップを使用して、雰囲気づくりをしました。</p> <p>栄養に配慮した献立の提供し、誕生日会や行事には盛り付けも工夫しています</p> <p>給食は季節の旬の食材をとり入れ、栄養に配慮して提供しています。栄養士はクラスを周って喫食状況を確認し、その後の献立や調理に反映させています。毎月行事や誕生会に合わせた行事食も提供しています。行事の内容に合わせて、野菜の飾り切りや盛り付けを工夫し、見た目も楽しい給食を心がけています。誕生会では子どもの好きなメニュー、卒園お祝い会では赤飯を用意しています。食物アレルギーのある子どもについては入園時に確認し、除去食を提供しています。提供の際は専用のトレイや食器を使用し、テーブルを別にするなどの配慮をしています。</p> <p>栄養指導や野菜の栽培、クッキングなどを通して食への関心を深めています</p> <p>食育計画を基に栄養士による食へのマナーや栄養について話す機会を設け、食への関心を持ち大切さを感じられる活動をしています。野菜の皮むきや給食食材の下処理のお手伝いなどを通して、食材の栄養について知る機会も設けています。現在は中止していますが、3~5歳児はクッキングなども実施しており、ホットケーキや焼きそば作りなどを行っています。収穫した野菜は味噌汁やサラダ、デザートで食しています。野菜の栽培は屋上菜園で行ない、なす・キュウリ・ピーマンなどを育てました。サツマイモは近隣農家の協力を得て、芋ほりを体験しました。</p>																			

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>3. 保護者と連携をとて、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとて、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																			
◎あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当																		
◎あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当																		
◎あり ○なし	3. 保護者と連携をとて、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目7の講評																				
<p>交通安全や保健指導の機会をもち身の周りの危険や健康に関心が持てるようにしています</p> <p>身の回りの危険を伝え防止するために、毎月の避難訓練や警察官による交通安全指導(今年度はDVD鑑賞)、散歩に出かけた際には道路の歩き方など交通ルールについて話をしています。公園では遊具の使い方についてその都度説明しています。健康については「健康管理・保健計画」に沿い、看護師による手洗いや歯磨き、就学に向けた和式便座の使い方を教えています。保育者からも正しい手洗いや季節の病気などについて話し、自身の健康について関心が持てるよう指導しています。また園で取り組んでいる体操教室を通じ、丈夫な体作りと体幹を鍛えています。</p> <p>内科や歯科検診を実施し、専門機関と連携して子どもの健康管理に努めています</p> <p>嘱託医による年2回の内科健診(0歳児は隔月)や年1回の歯科検診など専門機関と連携し、子どもの健康管理に努めています。毎月身体測定も実施しています。医療的ケアが必要な子どもについては、専門機関や看護師、保護者と連携し適切な対応をしています。与薬は基本的に行なっていませんが、熱性痙攣や慢性疾患など医師の指示があった場合は、与薬依頼書を提出してもらい預かっています。また職員は自動体外除細動器(AED)やアナフィラキシー緊急補助治療に使用する緊急用キットの使い方を救急救命講習や園内研修で学び、緊急時に備えています。</p> <p>重要事項説明書や保健だよりで子どもの病気に関する情報を保護者に伝えています</p> <p>重要事項説明書には子どもの病気に関わる事柄について記載しており、入園時に説明しています。保健だよりでは日常の生活の中で健康に過ごすための生活習慣や薄着、また事故事例などを取り上げ、対処法や注意事項を伝えています。園内で感染症が発症した際は、速やかに掲示やメールで注意喚起しています。乳幼児突然死症候群(SIDS)については園では午睡チェック(0歳児5分、1歳児10分)を実施し、呼吸や体位を確認しています。感染症対応については職員を対象に、嘔吐の処理方法と感染対策の研修を実施しています。</p>																				
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(○○○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>2. 保護者同士が交流できる機会を設けている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																			
◎あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
◎あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当																		
◎あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当																		
◎あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
◎あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目8の講評																				
<p>保護者の個々の事情に配慮するとともに懇談会など保護者との共通認識を構築しています</p> <p>保護者の就労などについては入園時に聞き取り、基本的な保育時間を決めていますが、残業など急な時間変更には柔軟に対応しています。日々の子どもの様子は、連絡帳やホワイトボードへの掲示と、SNSで写真にコメントを添えて配信しています。送迎時には一人ひとり声かけし、その日のエピソードなどを伝えています。懇談会や個人面談では子どもの成長の目安と現状の様子を伝え、保護者と共通認識を持つことで信頼関係を構築しています。接遇については「保護者対応マニュアル」を整備し、適切な対応を心がけています。</p> <p>行事やクラス懇談会、保育参観など保護者同士が交流する機会を設けています</p> <p>園の行事(運動会や生活発表会など)への参加やクラス懇談会、保育参観などで保護者同士が交流する機会を設けています。クラス懇談会では担任から話題を投げかけて話しやすい雰囲気を作り、保護者から育児についての悩みなどを話してもらい、先輩保護者からのアドバイスも受けられる機会を設けています(今年度は1回目は中止)。今年度は感染症対策のため、保護者同士が交流する場が減りましたが、今後感染が落ち着いてきたら順次再開していきたいと考えています。</p> <p>クラス懇談会や個人面談などで育児について共通認識が得られるようにしています</p> <p>連絡帳の活用や送迎時の会話、クラス懇談会など、子どもの発達や育児などについて保護者と共通認識を得る取り組みをしています。今年度は1回目の懇談会はできませんでしたが、個人面談を実施し、子どもの成長の目安と現状の様子を伝えています。園だよりやクラスだよりなどでは、年齢ごとの成長の様子や目安などを伝え、共に育てる姿勢を示しています。保育参観では子どもの様子と保育士の関わり方を見もらい、育児の参考になるようにしています。今後は職員が研修で学んだことを保護者へも伝え、共有する場を設けていきたいと考えています。</p>																				

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(○○)									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目										
◎あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当									
◎あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当									
評価項目9の講評											
<p>公園や公共施設など、地域資源を活用したさまざまな体験の機会を設けています      近隣のさまざまな公園を利用した散歩や、消防署・警察署の協力のもと避難訓練や交通安全教室を体験しています。公園では四季折々の植物や昆虫に触れながら遊んでいます。同じ施設内にある学童には、絵本の読み聞かせに招待してもらっています。また散歩先では、交番の警察官や商店街の人達とあいさつを交わしているほか、消防署では消防車を見せてもらっています。そのほか、市の保育園園長会主催の「保育まつり」(保育園紹介・手遊び・音楽や劇・工作コーナーなどの見学)に行っています。地域資源を活用したさまざまな体験の機会を設けています。</p> <p>高齢者施設や近隣農家など、子どもが職員以外の人と交流し生活の幅を広げています      職員以外の人と交流できる機会としては上記施設との交流のほか、5歳児が高齢者施設を訪問(中には入れないので外で実施)し、プレゼントなどを渡しています。近隣農家では芋ほり体験として芋のほり方を指導してもらっています。地域交流活動として「子育て広場」を実施し、親子リトミックやクリスマスリース作りをしています。ひととき預かりも人数制限をして受け入れています。また保育実習生3名、ボランティア5名、職場体験として1校1名を受け入れています。さらに「お祭りごっこ」に地域の人を招待するなど、生活の幅を広げています。</p>											

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル①	職員が定着するよう、働きやすい職場作りに取り組んでいます	前年度までは多くの職員の入れ替りがありました。職員の定着化のために、働きやすい職場環境に努め、安心して長く働くことが出来る保育園を目指しています。そのために、必要な知識や技術の取得のための研修計画を立てて、その成果の評価をして職員のモチベーション向上につなげ、働き甲斐を感じられるように取り組んでいます。
内容①		

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-2	事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している
タイトル②	職員ひとり一人の資質と保育の質の向上に向け、職場環境の整備に取り組んでいます	職員ひとり一人の資質向上と保育の質の向上のため、お互いに語り合い、保育の知識や技術を常に学んでいくことができる職場環境の整備に取り組んでいます。階層別研修計画書は、園長・主任・一般正職員・専門職別にキャリアパスに整合して作成しています。また職員の意向や経験は、個別面談で把握し人事考課シートに記録しています。そのほか、リーダー育成の具体的な方法として、キャリアアップ研修やマネジメント研修を実施しています。
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-2	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている
タイトル③	保育者理念に沿って子ども主体の保育を展開し、健やかな成長を支援しています	保育者理念として「わたしたちは支援者として子どもに関わるすべてに全力を尽くします」と掲げています。目指す保育園像の中に「『自ら考え行動できる子ども』を育み、「やりたい気持ち」を応援し、発達段階を考慮した手助けをします。』とあり、子どもの主体性を大切にした保育を基本とし、遊びの中から5つの領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)について育むことを目指しています。加えて体操教室や和太鼓などにも取り組み、就学に向けた活動を通して挨拶や決まりを守ることの大切さを伝え、社会性を身につけられるように指導しています。
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	行事や食育など内容を工夫しながら実施し、園生活に変化と潤いを持たせています
	内容	今年度は感染症対策のため、さまざまな制約がある中、行事の実施に向けた工夫が見受けられました。保護者は参加できませんでしたが、夕涼み会を「お祭りごっこ」として出店や盆踊り、お神輿と夏祭りのイベントを行ないました。運動会も3～5歳児で保護者も人数制限して行うとともに、食育活動も野菜の栽培や芋ほりなど食への関心が持てるような活動をしました。うがい・手洗いについてはさらに念入りに洗うことと感染症の注意事項を伝えました。「できない」ではなく「どうすればできるか」を検討し、感染症対策に十分に配慮して実施しています。
2	タイトル	園児に医療的な課題がある場合などは、保護者と共に理解に基づいて問題解決を図っています
	内容	保護者の就労などについては入園時に聞き取り、基本的な保育時間を決めていますが、残業など急な時間変更には柔軟に対応しています。また、園児に医療的な課題がある場合などは、職員も積極的に関わり、共通理解に基づいて問題解決に取り組んでいます。今回の第三者利用者調査「職員の接遇・態度は適切か」および「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか」の設問では90%の保護者が「はい」と答えており、取り組みの成果が現れています。
3	タイトル	職員が増員されたことで職員配置に余裕ができ、以前より働きやすい職場環境になり、保育面でも行き届いた保育が出来るようになりました
	内容	開園後6年目を迎え、その間に管理職を含めて多数の職員の入れ替えがありました。昨年度は職員増員がスムーズに進みましたので、余裕ある職員配置が出来るようになりました。さらに職場環境の改善にも取り組み、職員からは「休暇が取りやすい」、「残業をしない雰囲気がある」などの声が聞かれました。また保育実践でも、気持ちに余裕を持って保育が出来るようになりました。子ども一人ひとりに関わる時間が増えて、子どもの見守りが行き届いたり、職員間で話し合いながら保育を行う雰囲気が出てきています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	最優先で取り組むリスクとして「園児数の定員割れ」を挙げているため、地域貢献活動の充実など園の魅力を高める努力に期待します
	内容	現在はほぼ定員の園児数を確保していますが、近い将来に待機児童がゼロになれば定員割れのリスクは現実味を増してきます。そのため園の魅力を高め、地域になくてはならない園として認められるようになることが最善のリスク対策と思われます。そのためには、地域への子育て支援事業の充実や、職員の専門性を高めて地域支援活動を行うことなどが必要になってきます。また園内においては、利用者の不満や要望への対応力の強化や、職員が定着化することで、利用者が安心し、その結果として利用者の満足度向上につながることが期待されます。
2	タイトル	「ハイスクープアプローチ」導入に向けた準備を進めており、子どもが「より主体的に活動」できる環境作りに期待ができます
	内容	子どもが主体的に活動できる環境づくりを目指しており、園のパンフレットにも記載していますが、現在「ハイスクープアプローチ」(物や人、さまざまな出来事など、子どもたちの興味関心をもとに保育計画を立てて実践していきます。保育者が与えるだけの学びではなく、発達にあった材料に“実際に触れて自ら得る学び”を大切にし、自ら考えて行動する。保育者は的確な援助します)の導入に向けた準備をしています。職員も研修に参加して学んでいます。保育環境も少しづつ構成を検討しています。本格的な導入に向けた取り組みに期待されます。
3	タイトル	キャリアパスと連動した階層別研修などの人材育成制度について、職員へのより一層の周知の余地が確認されました
	内容	研修計画は3月に策定して、事業計画書に明示しています。なお階層別研修計画書は、園長・主任・一般正職員・専門職別にキャリアパスに整合して作成されています。一方で、今回の第三者職員自己評価「求める職責、職務内容に応じたキャリアパスと連動した人材育成計画」の設問では、一般職員の59.1%が「そう思う」と答えたのに対し、リーダー層では33.3%に留まっていました。再度全体に周知を図るとともに、リーダー層への周知強化の取り組みの余地が確認されました。